



photo : Ai Hirano

# Tachibana Being vol.90

WebTB WebTBはさらに充実  
<http://www2.tachibana-u.ac.jp/webtb> January 2018

## 特集 フレフレ就活生

- 02 内定者に聞く就職活動
- 04 内定者インタビュー
- 08 インターンシップに密着!
- 10 京都橘大学のキャリアサポート
- 11 キャリアメイトに注目!
- 12 ニュース&トピックス

## 内定者に聞く 就職活動

就職を希望する学生が必ず経験しなければならないもの、それが就職活動です。先輩たちはどのような目標をもって就職活動を行い、それを通じて何を感じたのでしょうか。今回は内定を獲得したお2人に詳しくお話をうかがいました。

お互いに高め合える  
職場で、  
自分の力を活かしたい

中川 照悟 さん  
現代ビジネス学部  
現代マネジメント学科4回生  
(現・経営学科)  
SMBC日興証券株式会社 内定

自分が納得のいくまで  
妥協せず、  
精一杯やるのが大切

神田 純花 さん  
文学部  
歴史遺産学科4回生  
株式会社ワコール 内定

### 入念な準備が 自分の自信に

就活を始めた頃は、商社やメーカーを中心にエントリーしていました。そして、選考試験が進むなかで、SMBC日興証券に勤めている友人が、証券会社も視野に入れてみてはどうかと声をかけてくれたことがきっかけで、支店訪問が実現しました。自分が思っていた証券会社のイメージと、企業訪問で訪れたSMBC日興証券は、まるで違っていました。対応してくださった入社8年目の社員の方がとても親切で、こういう上司がいる会社は良いなと思いました。また、先輩・後輩社員の仲が良く、お互いを高め合いながら仕事をしているという印象を受けました。入社後は、大学生活で培ったコミュニケーション能力を活かし、頑張りたいですね。

就活対策は、早くから始めることに越したことはないと思います。特に面接の練習は大事で、経験を重ねることがなくなり、自分の思いが伝えられるようになりません。その会社の面接は一回切りです。後悔しないためにも十分練習しましょう。また、自身の経験上、選考試験の詰め込み過ぎは疲れてしまい、面接で力を発揮できなくなるので、メリハリをつけながら取り組むと良いと思います。

### ゼミの先生や先輩、 友人が支えに

高校生の頃、スポーツをするときの下着で苦労したことがあり、体型や下着の悩みと一緒に考えたいと思い、ワコールを志望しました。ワコールが目標とする「世界の女性に美しくなってもらいたい」ということにも共感し、下着以外にも女性が一生使うモノを扱っていることに魅力を感じました。また、社員研修や資格取得のための制度が整っていて、就職してからも自分が成長していける会社だと思いました。

面接では、相手の目を見て話すことや面接官のお話をしっかり聞き、きちんと会話をすることを心がけていました。大学での学びや研究テーマに対して興味を持ってくださり、質問してくださるなど、明るい雰囲気のおかげで会話ははずみ、ちゃんと人を見てくれる会社だと感じました。内定を得るまでには、さまざまなお悩みがありましたが、いつも背中を押してくれる友人が支えになりました。履歴書や提出書類の作成では、ゼミの先生にアドバイスをもらったり、面接練習は先輩がつきあってくれるなど、ゼミ全体でサポートしてもらいました。就活では、大変な思いをすることもありますが、妥協せず、精一杯やり抜いてほしいと思います。

中川 照悟 さん

SMBC日興証券株式会社 内定

Webエントリー社数 1000社  
ESを提出した社数 30社  
企業説明会に参加した社数 30社  
合同説明会に参加した回数 4回

神田 純花 さん

株式会社ワコール 内定

Webエントリー社数 20社  
ESを提出した社数 15社  
企業説明会に参加した社数 7社  
合同説明会に参加した回数 0回

## 内定者インタビュー

先輩たちはどのような準備をして就職活動に臨んだのでしょうか。キャリアセンターや就職支援プログラムをどのように活用したのでしょうか。希望の就職先に内定した先輩たちからのメッセージをお届けします。



### 自分の軸をしっかりと持つ

昔から食べるのが好きで、「食」に興味がありました。就活において、企業を選ぶときも食品メーカーを中心にエントリーし、自分が本当に行きたいと思える企業しか受けませんでした。常に自分の気持ちに正直でありたいと思っていたので、そんな自分を選んでくれる企業で仕事したいと考えていました。UHA味覚糖は、新しいものをつくり続け、未来に向けてチャレンジしていくという企業理念に共感しました。また、内定の連絡を受けたときに「一番行きたいところを選んでくれればいい」と、考える時間をいただけただけから人も大切にしてくれる企業だと実感し、この企業で働きたいと思いました。

就活では、自分の軸をぶれさせないことが大事だと思います。そのためにも、準備はしっかりと行うことが必要です。私は書類選考や筆記試験で落とされることのないように、履歴書の作成やSPの勉強は早くから取り組んでいました。自分が志望する企業で内定を得るため、後輩たちにも頑張ってもらいたいですね。

#### UHA味覚糖株式会社 内定

Webエントリー社数  
ESを提出した社数  
企業説明会に参加した社数  
合同説明会に参加した回数

10社  
3社  
1回



佐藤 瞭太郎 さん  
現代ビジネス学部  
現代マネジメント学科4回生  
(現・経営学科)



西村 真琳 さん  
健康科学部  
心理学科4回生

#### 株式会社村田製作所 内定

Webエントリー社数  
ESを提出した社数  
企業説明会に参加した社数  
合同説明会に参加した回数

30社  
20社  
15社  
3回

### 働いている姿がイメージできる

大学に入学したときから就職を意識していました。京都で就職したいと考えていたので、業界は絞らず、京都に本社が支社がある企業を詳しく調べていました。インターンシップや企業説明会にも積極的に参加し、自分の目で見て、話を聞いて、いいなと思った企業にエントリーをしました。

村田製作所の企業説明会では、社員の方にフランクに接していただきました。快活な女性社員の方も多く、自分も楽しく働けるイメージを持ちました。面接試験では、面接官と会話のキャッチボールをするように心がけていました。また、必要以上に自分を飾らずに素直な気持ちを簡潔に話すように意識しました。リラックスして臨めたので、いい結果が得られたのだと思います。

私は、キャリアセンターの個人面談を積極的に活用していました。3回生の秋から2週間ごとに面談を受けていました。一人ひとり丁寧に親身に相談にのってくださるので、心強かったですね。選考試験の前には、力をたくさんもらい頑張れました。



村井 佑妃 さん  
健康科学部  
心理学科4回生

#### 株式会社三井不動産ホテルマネジメント 内定

Webエントリー社数  
ESを提出した社数  
企業説明会に参加した社数  
合同説明会に参加した回数

10社  
21社  
21社  
6回

### この人たちと一緒に働きたい！が決め手!

三井不動産ホテルマネジメントとの出会いは、就活を始めてすぐに参加した合同企業説明会でした。人事担当者や新入社員の方たちの会話や雰囲気から風通しの良い社風であることを感じ、学生に寄り添って相談を受けたり、話したりする姿に好感を持ちました。独自説明会や面接、ホテル見学に行き、社員の人たちと接することで、この方たちと一緒に働きたいという思いが強くなりました。

面接で気をつけたのは、笑顔でハキハキと話すこと、第一印象が良くなるよう身だしなみや表情にも常に意識を向けたことです。これは、大学での心理学の学びや、ホテルなど接客業のアルバイト、幼い頃からの習い事であるバレエで培われたのだと思います。

また、就活中はキャリアセンターにもよく通いました。面談での確かなアドバイスをもらえ、励ましの言葉をたびたびかけてもらったことが大きな支えとなり、「より多くの人と接し、人の役に立ちたい」という私の希望をかなえることができました。

### 就活を楽しむコツ

仕事をするなら、その業界のトップメーカーで働きたいと思っていました。そこで自分の力を試したいという気持ちがあったからです。積水ハウスで営業を志望したのは、人と話すのが好きなことや、人生のなかで高価な買い物になる住宅をお客様と一緒にプランをつくり、喜びや感動を分かち合える素晴らしい仕事だと思ったからです。積水ハウスでは、設計、インテリアプランナーとそれぞれに担当が分かれていて、営業がそれらをつなぐ役割を担います。チーム一丸となり、全力でお客様によりよいものを提案していきたいですね。

就活でのモチベーションを保つためにしていたことは、週1回、キャリアセンターの面談を受けていたことです。アドバイザーの方とお話することで勇気をもらえました。そして、就活を楽しむことです。私は、就活を通して、多様な考え方に触れ、ものごとを多面的にとらえられる機会が多くなり、それが楽しかったです。何事も前向きに考え、進んでいくことが将来につながると思います。

#### 積水ハウス株式会社 内定

Webエントリー社数  
ESを提出した社数  
企業説明会に参加した社数  
合同説明会に参加した回数

50社  
12社  
26社  
2回



御子神 勇気 さん  
現代ビジネス学部  
都市環境デザイン学科4回生

### ゼロからのスタートでも大丈夫

就活を始めたのは、3回生の夏頃からです。何から取りかかればいいのかからず、キャリアセンターが主催するさまざまな講座に参加しました。特に面接対策講座には、積極的に参加して面接時のマナーや話し方などを学びました。そのなかでもおススメは、1日かけて行われる個人面接やグループ面接、グループディスカッションの講座です。的確な指導や助言がとても参考になりました。自分の成長につながったと思います。また、私が志望していた業界では、SP試験が実施されていたので、SP対策講座も必ず受講するようにしていました。

内定をいただいたオリックス銀行の面接では、最初に金融に関する知識が乏しいことを正直に話しました。そして、自分が独学でしている金融の勉強方法に対して意見をうかがったり、ゼロからのスタートでも頑張りたいと伝えました。その際に励ましの言葉をかけてくださるなど、社員の方々の温かい人柄に接し、この企業で働きたいと思いました。

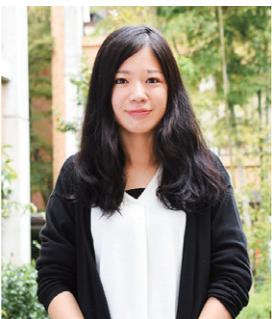
#### オリックス銀行株式会社 内定

Webエントリー社数  
ESを提出した社数  
企業説明会に参加した社数  
合同説明会に参加した回数

30社  
15社  
4回



山分 華子 さん  
文学部  
歴史学科4回生



貞包 瑞貴 さん  
文学部  
歴史遺産学科4回生

九州旅客鉄道株式会社 J R九州  
Webエントリー社数 47社  
ESを提出した社数 17社  
企業説明会に参加した社数 30社  
合同説明会に参加した回数 4回

### 人の支えとなる仕事が見たい

「人の支えになる仕事」を軸として就活をしていました。九州旅客鉄道を志望したのは、人々の暮らしを支える仕事ができると思ったからです。また、定年まで仕事を続けたいと考えていたので、女性が働きやすい職場であることも希望に合っていました。3回生の6月からキャリアセンターに行き、自己分析や履歴書の作成、個人面談を受けていました。また、面接練習は、キャリアセンターの講座だけでなく、就活サイトも利用してたくさん練習して選考試験に臨んでいました。たまにうまくいかないことがあったときは、大好きな甘いものを食べて気持ちを切り替えることで、次に向かって頑張ることができました。

就活では、思うようにならないことが進まず、つらい思いをすることもあると思います。そんなとき私は、自分の人生なので妥協をしないこと、後回しにせず行動することをモットーにして、一歩踏み出すようにしていました。後輩たちにも、自分から積極的に行動する姿勢を忘れず就活に取り組んでほしいですね。



浅野 雄也 さん  
現代ビジネス学部  
都市環境デザイン学科4回生

株式会社四電工内定  
Webエントリー社数 10社  
ESを提出した社数 4社  
企業説明会に参加した社数 5社  
合同説明会に参加した回数 1回

### 地元で貢献できる仕事

四電工は、地元の四国でよく知られている大手企業で、私も小さな頃から馴染みのある会社でした。四国で暮らす人々の生活に欠かせない電気の送配電に携わっている会社で、電気で四国を守っています。私は、地元で、地域に貢献する仕事に就きたいと考えていたので、大学で学んだ建築の知識が活かせる設備設計の部署もあることを知り、四電工を志望しました。

就活の準備では、キャリアセンターを活用し、履歴書やESの添削してもらいました。専門のスタッフの方に見てもらい、納得のいく書類づくりができました。面接試験では、内気な性格なこともあり、自分の伝えたいことがうまく話せず、よく落ち込みました。そんなときに支えになってくれたのが、6歳上の兄でした。面接練習に付き合ってくれたり、アドバイスをしてもらい、だんだんと気負わずに話せるようになりました。就活では、誰もが一度は失敗を経験するのではないのでしょうか。でも、その失敗を恐れずに、頑張ってみようかな。

### 自分に自信を持って就活に臨む

企業選びで重視していたことは、自分がやりたいと思える仕事があるかどうかでした。大学で学んだ建築を活かせる仕事に就きたいと思っていたので、建築設計、住宅メーカー、建設会社などを中心に選びました。就活をしていくなかで、お客様と関わる機会が多い営業職にも興味を持ち、それが実現できる大和ハウス工業に決めました。

就活で大事だと感じたのは、自分に自信を持つことです。そのためには大学生活を充実させることが必要だと思います。私は、建築の学びにしっかりと取り組んだことで、建築への熱意や知識は誰にも負けない自信ができました。そして、ブライダル業界や塾でのアルバイトを通して、幅広い年代の人とコミュニケーションをとることで、人との接し方も身についたと思います。面接では、こうした経験や学んだことなどをしっかりと伝えることができました。また、興味を持ってもらえるように話し方を工夫したことで、面接官に対して印象を強く残すことができ、それが内定につながったのではないかと思っています。



鶴田 一登 さん  
現代ビジネス学部  
都市環境デザイン学科4回生

大和ハウス工業株式会社内定  
Webエントリー社数 20社  
ESを提出した社数 10社  
企業説明会に参加した社数 15社  
合同説明会に参加した回数 2回

### 自分の成長につながる企業へ

私は、とにかく行動することをモットーにしていました。本格的に就活が始まるまでに、学生時代に頑張ったことなどをまとめ、自己PRや履歴書を何種類か完成させていました。また、業界を初めから絞ることはせず活動を始めました。志望していた業界だけでなく、あまり関心のなかった企業も、まずは説明会やインターンシップに参加して話を聞き、興味を持った企業には積極的にエントリーしました。就活では、体調管理も大事ですし、自分なりのリフレッシュ方法を見つたり、自分のペースで活動することも意識しました。同じゼミの友人は、就活に積極的な人が多かったので、お互い励ましあって頑張ることができました。

アフラックを選んだ理由の一つは、ジョブローテーション制度を取り入れていることでした。一つの企業のなかでさまざまな業務を知り、経験していくことで、自分の成長につながると思ったからです。また、女性が活躍できる環境が整っていることもやりがいになると思いました。



茶木 葵 さん  
現代ビジネス学部  
都市環境デザイン学科4回生

アフラック  
American Family Life Assurance Company of Columbus 内定  
Webエントリー社数 50社  
ESを提出した社数 30社  
企業説明会に参加した社数 19社  
合同説明会に参加した回数 1回



中元 優理 さん  
人間発達学部  
英語コミュニケーション学科4回生  
(現・国際英語学部国際英語学科)

スルガ銀行株式会社内定  
Webエントリー社数 15社  
ESを提出した社数 10社  
企業説明会に参加した社数 10社  
合同説明会に参加した回数 3回

### 自分が一番したい仕事を見つける

就活を始めるまでの期間は、自分の就きたい仕事がいメージできず、悩んでいました。父が金融関係の仕事に就いていることもあり、話を聞いて興味を持ちました。就活を始める3回生の3月には、金融関係に絞り、インターンシップや企業説明会に参加しました。内定を得たスルガ銀行は、銀行の堅苦しいイメージをなくすため「行員」を「社員」と呼称を変えるなど、新しいことに挑戦する銀行です。新たな商品提案などをベテランの社員だけでなく新入社員にも同じように企画立案できる環境が整っているため、積極的に挑戦してみたいです。

就活で辛い時は、母が支えてくれました。母がかけてくれた「就活がゴールではないし、もっと気楽に」の言葉で気持ちが楽になり、頑張れました。なので、就活をしないと！と自分を追い込み過ぎず、気楽に取り組むほうがうまくいくこともあると思います。そのためにも、早くから自分の将来と向きあうことが大切です。自分に合う仕事は必ずあると思うので、しっかりと見つめてほしいです。



学生部長  
現代ビジネス学部  
都市環境デザイン学科  
小暮 宣雄 教授

### 学生自ら率先して行う キャリアづくりを支援します

キャリアセンターでは、大学の学びとともに大切なキャリア形成について、さまざまな機会を提供しています。しかし、各種ガイダンスや面談などは、それを義務として行うような受け身のものではないと思います。

ですから、学生自らが能動的に参加できるようなプログラムを積極的に準備してきました。今年も、インターンシップ報告会を自らプロデュースするという新しい試みに挑戦しています。

また、本学ではU・Iターン就職の動きも活発です。協定・連携を行う県市はどんどん増えています。先日、富山県庁と11の地元企業の方たちが大学に来られて、県出身者たちと出会うといううれしい出来事がありました。これからも、地域と企業と学生の出会いが多く生まれるような布石を打っていく予定です。

学生自らが率先して臨み、イニシアティブが取れるキャリアづくりを支援しますので、キャリアセンターのカウンターに気軽に顔を出してほしいと願っています。

# インターンシップに密着!

京都橘大学では、数々のキャリア支援プログラムをそろえています。今回は「単位認定型インターンシップ」に参加した3人にお話をうかがいました。

## 那智勝浦町でのインターンシップに参加



竹中 智彩 さん  
人間発達学部  
英語コミュニケーション学科2回生  
(現・国際英語学部国際英語学科)

那智勝浦町での11日間のインターンシップでは、旅館組合や商工会、観光協会、漁連などさまざまな事業所で就業体験とフィールドワークを行いました。最終日には、インターンシップ終了報告会があり、就業体験と課題解決に向けたフィールドワークの調査結果を発表しました。

入学時から就活には早くから取り組もうと考えていたことや、実社会のなかで働いている人の話を聞きたいという思いがありました。那智勝浦町のインターンシップでは、以前から興味があったまちづくりの活動やホテル業界のことについて地元密着型でしっかり学べると思い参加を決めました。

一度のインターンシップでこの町に関わるさまざまな仕事を体験でき、町全体のことわかり、とても勉強になりました。また、どちらの事業所でも、お客様に対してのおもてなしの心を持って、常に笑顔で、感謝の気持ちを忘れず接客をされていて、人の話を聞く力や話し方などコミュニケーション能力の大切さを実感しました。那智勝浦町の皆さんと関わることで、自分のなかに響くことがたくさんあり、自分自身の成長につながりました。

## 京都市文化市民局 文化芸術都市推進室 文化財保護課でのインターンシップに参加



松本 弥和 さん  
文学部  
歴史遺産学科2回生

10日間のインターンシップでは、5つの部署で民俗調査や発掘調査、出土した土器の分類、実測などを行いました。将来、歴史遺物の修復や保存などに関わる仕事に就きたいと考えているので、興味のあることを幅広く体験することができました。

ある日の研修では、花背村に伝わるお祭りを京都市指定の文化財にするための民俗調査に同行させていただきました。お寺から見つけた史料の聴き取り調査や、取り壊した拝殿跡の写真撮影を見学しました。公務員の方の仕事は、主にデスクワークだと思っていたのですが、フィールドワークも多く、仕事内容に関する印象が変わりました。

研修のなかでも、私が一番興味があった土器の分類や実測では、出土した遺物をどのように見たらよいのか、そのとらえ方や向き合い方を教えてもらいました。実測から取れたデータを図面にしていくときに、



1.発掘現場  
2,3.土器の分類作業

## インターンシップってなに?

インターンシップとは、学生が在学中に自分の専攻・将来の仕事に関連した企業などで一定期間就業体験をすることです。本学では「事前研修」「就業体験」「事後研修」を一つの講座とし、本学が協定を締結している企業、行政、NPO法人、図書館、公共施設等で単位認定型インターンシップを行っています。早期から社会との関わりを経験することで、自己表現として職業をとらえ、就業観を確立します。

京都パナホーム株式会社での10日間のインターンシップでは、社内での研修や部署の紹介、3カ所のモデルハウスでの営業補助業務、リビングショールームでの内装の打ち合わせの見学、購入されるお客様への営業同行、社員研修(接客ロールプレイング)の見学などをしました。

インターンシップに参加したことのあるサークルの先輩からのすすめもあり、2回生での参加を決めました。社会に出ることになり多少の不安もあったので、ビジネスマナーなどの事前研修があり、大学からのサポートも手厚い単位認定型での参加を選びました。

京都パナホームを選んだのは、小学生の頃に両親とモデルハウスに行ったことがあり、身近に感じられたことや、営業の仕事に興味があったので、実際に現場での仕事を見たいと思ったからです。実際に働いている社員の皆さんの仕事に対する姿勢や達成するための努力、仕事の楽しみ方やオンオフの切り替えなど、さまざまなことを拜見してとても勉強になりました。今後は、この経験を活かし、就活に取り組みしていきたいと思っています。

## 京都パナホーム株式会社でのインターンシップに参加



平井 星輝 さん  
現代ビジネス学部  
経営学科2回生

性質などにすぐく精通されていて、そのモノに関わる人たちとの連携をとっても大事にされていたことが印象に残っています。社会人の方と接し、身近に働き方を見られたこと、教えていただいたことで、働くことのイメージもつかめました。また、今後の大学生活で自分が何をしたいのか考える良いきっかけにもなりました。私は考古学に重点を置いていますが、美術・工芸、建築などにも関心を広げていきたいと思いました。

どうしても実物を見たときの印象と変わることがありました。そのときに、人が触ったときにどう感じるかがとても大切で、数字だけではなく、土器の性格を図面で伝えられるようにとお話があり、その奥深さにもますます興味を持ちました。長年の経験からわかることも多いそうなので、経験を積んでいくことが大事なのだと感じました。

今回のインターンシップを通して、今後、幅広い分野に関心を持つことが大切だと思えました。

## インターンシップに参加して

一番関心のある分野でインターンシップがあると知り、参加できてとてもうれしかったです。文化財といってもさまざまな分野があり、どの研修も興味深く勉強になりました。インターンシップで出会ったそれぞれの担当者の方は、対象物一つひとつの状況や

## インターンシップ担当者にインタビュー

発掘調査は、現場での調査・記録や資料を持ち帰っての整理作業などさまざまな工程に分かれています。一つひとつの作業は、細かく、はじめはそこに意味を見いだすことが難しいと感じるかもしれません。しかし、どの作業もとても大切で、一人ひとりが大事な役割を担っています。時間はかかりますが、小さな点を積み重ねて、新しい発見やアイデアに出合えることが、この仕事の醍醐味だと思っています。インターンシップでは、すべての工程を経験してもらうことは難しいですが、大きな流れを意識しながら作業に取り組み、ここでの経験や気づきを今後活かしてほしいですね。



京都市文化市民局  
文化芸術都市推進室文化財保護課  
奥井 智子 さん

# 京都橘大学の キャリアサポート

京都橘大学は、国際・人文・教育・社会・医療系まで幅広い学部・学科からなる総合大学です。学生一人ひとりが将来の夢や希望する進路を実現するため、本学が展開しているキャリア教育について紹介します。

## 京都橘大学の学部・学科構成

### 国際英語学部

国際英語学科  
(2017年4月、人間発達学部  
英語コミュニケーション学科を改組)

### 文学部

日本語日本文学科  
歴史学科  
歴史遺産学科

### 発達教育学部

児童教育学科  
(2017年4月、人間発達学部  
児童教育学科を改組)

### 現代ビジネス学部

経営学科  
(2015年4月、現代マネジメント学科を改組)  
都市環境デザイン学科

### 看護学部

看護学科

### 健康科学部

心理学科  
理学療法学科  
作業療法学科 (2018年4月開設)  
救急救命学科 (2016年4月開設)  
臨床検査学科 (2018年4月開設)

**キャリア形成プログラム** [正課] [課外]

社会人として必要になる教養やコミュニケーション能力などを1回生から段階的に養成。卒業時には、実社会で通用する問題解決能力、情報収集力、思考力などが身につくようサポートしています。

**就職支援プログラム** [課外]

学生一人ひとりを個別に支援するとともに、業界・企業との多彩な接点を用意しています。また、父母との連携体制や、就職決定者から下回生へのフォローなど、就職活動をバックアップしています。

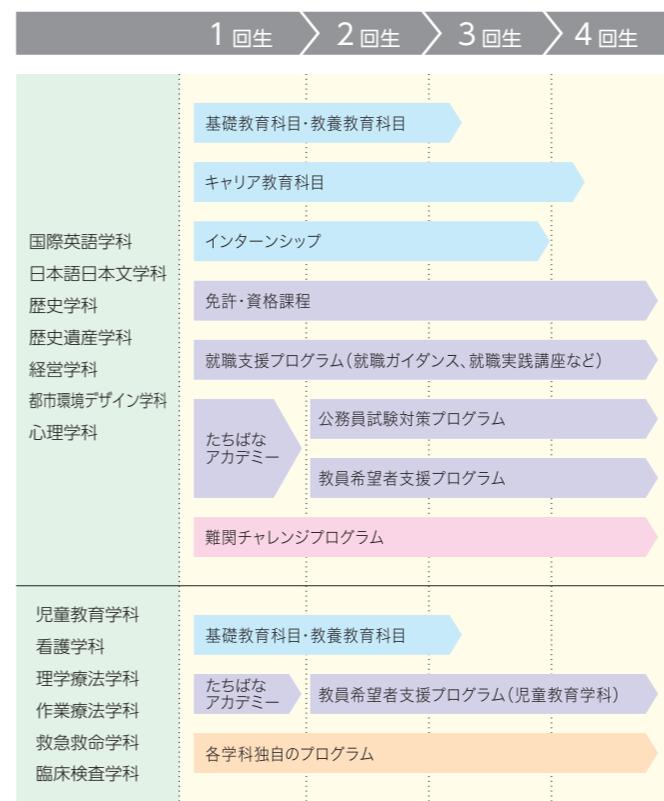
**難関チャレンジプログラム** [課外]

グローバル企業をめざす学生を対象に、留学生との交流や海外体験プログラム、海外インターンシップなどを積極的に行うほか、採用選考におけるSPI試験や筆記試験の対策も行っています。

**各学科独自のプログラム** [正課] [課外]

専門性の高い資格、職種などをめざす学生を支援するため、看護学部、健康科学部では、各学科独自の支援プログラムを展開しています。

## 4年間のキャリア教育の流れ



**就職・進路のことで困ったときは  
キャリアセンターへ**

キャリアセンター(就職進路課)では、在学生や卒業生の就職や進学などの進路支援業務を行っています。主に、民間企業や公務員の採用に関する情報提供と試験対策、就職・進学に関する企画や講座、ガイダンスの実施、求人票の受付・掲示などです。キャリアカウンセラーの資格をもつスタッフをはじめ、進路支援を担当する専門スタッフが常駐しています。エントリーシートや履歴書の書き方、企業研究の方法、面接の練習など、就職活動に関する疑問や悩みなど何でも気軽に相談しに来てください。

**キャリア・インフォメーション・センターを活用しよう!**

就職関連の資料、図書・雑誌・新聞などが豊富にあります。

**主な設置資料**

- 企業訪問記録
- 求人票
- 会社案内
- 会社四季報
- 新聞
- 業界地図
- 業界研究資料
- ビジネス雑誌 など

# キャリアメイトに 注目!

京都橘大学では、学生がほかの学生の就活を積極的にサポートする取り組みを行っています。キャリアメイトとして活動する2人にお話をうかがいました。

## キャリアメイトってなに?

キャリアメイトは、ゼミとキャリアセンターをつなぐパイプ役を目的にして活動しています。現在各学科から3回生を中心に16人が集まり、在学生への就活情報の提供や就活イベントの開催など、さまざまな取り組みを行っています。



谷本 久 さん 現代ビジネス学部 経営学科 3回生  
鈴木 美咲 さん 文学部 歴史学科 3回生

**キャリアメイトの活動**

キャリアメイトは、就職活動に関する情報を在学生へ提供するためにさまざまな活動を行っています。現在は、各学科から集まった2・3回生、計16人で構成され、木曜日にミーティングやイベント運営準備を行っています。

みんなで意見を出し合い、開催が決定したインターンシップ・不安解消講座は3社の企業を招き、7月と9月に実施しました。11月中旬に行われる学内業界別講演会、キャリアフェア、TACHIBANA祭、キャリアメイトが参加依頼のための企業訪問や本学学生に向けての広報活動、実施準備、当日の運営まですべてを担います。今年度は27社の企業・自治体に参加予定で、企業と学生をつなぐ

有意義な場になるよう準備を進めています。また、12月には「聞いてみよう! 人事の本音」と題して、21社から人事担当者を引き、学生が気軽に事業内容や仕事内容、就職活動のポイントなどを聞くことができる座談会を予定しています。

キャリアメイトは、これらのイベントの企画・運営のため多くの人と関わることで、責任感や職業観を養い、自身の成長につながっています。

※10月下旬取材時点の情報です。

準備やロールプレイングを何度も繰り返し練習するなど、努力を重ね、自信が持てるようになりました。活動を通して、つらいことや楽しいことなどさまざまなありますが、自分の成長を実感できることや、仲間から言われた「責任感が出てきたね」「成長した、変わったよね」の言がうれしいですね。

谷本さんのコメント(働くことへのイメージや目標ができたらいなと思いい、キャリアメイトになることを決意。活動当初は自分に自信がなく戸惑うことも多かったのですが、キャリアセンター担当者の「このことから自分に聞いて」ということが「つあると自信が持てる」という言葉をきっかけに、企業訪問のための

**キャリアメイトの活動を通して成長を実感!**

谷本さんのコメント(働くことへのイメージや目標ができたらいなと思いい、キャリアメイトになることを決意。活動当初は自分に自信がなく戸惑うことも多かったのですが、キャリアセンター担当者の「このことから自分に聞いて」ということが「つあると自信が持てる」という言葉をきっかけに、企業訪問のための

**学びや気づきも多く、何より楽しい!**

鈴木さんのコメント(キャリアメイトが主催するイベントチラシ制作や、講演会参加依頼のための企業訪問など、広報活動を担当しています。些細なことに気を配る大切さや、対象と時期を見極めて工夫しながら情報提供する必要性などを学びました。また、企業人事の方々が私たちの企画のために時間を割き一緒に考えてくれたことや、そのなかで励ましやおほめの言葉をいただくこともあり、貴重な経験となっています。新しい試みに挑戦できるキャリアメイトの活動はとても楽しく、みんなが成長し前向きに自分の将来と向き合う姿は私自身にとっても良い刺激です。ここで培った力を糧に、これからの就職活動に積極的に取り組みたいと思います。



谷本さんのコメント(働くことへのイメージや目標ができたらいなと思いい、キャリアメイトになることを決意。活動当初は自分に自信がなく戸惑うことも多かったのですが、キャリアセンター担当者の「このことから自分に聞いて」ということが「つあると自信が持てる」という言葉をきっかけに、企業訪問のための

## 全国大学弓道選抜大会で男子団体初優勝& 関西学生弓道選手権大会で男子個人優勝



6月24日(土)、25日(日)に全日本弓道連盟中央道場と明治神宮武道場至誠館弓道場を会場に行われた第29回全国大学弓道選抜大会において、本学弓道部男子団体チームが初の全国優勝を飾りました。

予選を勝ち進み、決勝トーナメントに進んだ男子団体チームは、静岡大学、天理大学、関西学院大学を下し決勝戦に進出。決勝戦では、慶應義塾大学と対戦し、接戦の末に17対16で勝利し、見事初優勝を果たしました。

本学女子団体チームも決勝トーナメントに進出し、ベスト8の成績を挙げました。

また、6月10日(土)、11日(日)にグリーンアリーナ神戸で行われた第61回関西学生弓道選手権大会では、上敷友貴さん(現代ビジネス学部経営学科2回生)が個人戦男子決勝射詰で優勝を飾りました。

## 吹奏楽部が京都府吹奏楽コンクール金賞、 関西吹奏楽コンクール銀賞を受賞



本学吹奏楽部は、8月9日(水)に京都コンサートホールで開催された京都府吹奏楽コンクール大学の部において金賞を受賞。前年度に引き続き、京都府代表に決定しました。

続いて、8月20日(日)に姫路文化センターで開催された関西吹奏楽コンクール大学の部では、銀賞を受賞しました。

## 学生書道のグランプリ

### 「全日本高校・大学生書道展」で優秀校を獲得



学生書道のグランプリを選ぶ「第22回全日本高校・大学生書道展」(公益社団法人日本書芸院・読売新聞社主催)の入賞者が発表され、本学は団体賞の優秀校(大学の部)を獲得しました。

今回は惜しくも13回目となる最優秀校受賞を逃しましたが、学生たちは来年の巻き返しを誓って、新たな気持ちで努力しています。

個人賞では、本学から最高賞の書道展大賞4点をはじめ、書道展賞に28点、優秀賞に22点が選ばれました。大賞を受賞したのは、次の4人です。

- 【漢字部門】 阿座上 将 (文学部日本語日本文学科書道コース4回生)
- 【漢字部門】 佐々木 遥香 (文学部日本語日本文学科書道コース4回生)
- 【かな部門】 岡本 梓沙 (文学部日本語日本文学科書道コース4回生)
- 【かな部門】 高橋 美咲 (文学部日本語日本文学科書道コース4回生)

## 女子バレーボール部が春季リーグ戦<1部>で優勝!!

4月15日(土)から開催されていた関西大学バレーボール連盟 2017年度春季リーグ戦<1部>で、本学女子バレーボール部が優勝しました。

1次リーグを通過した本学は、2次リーグで芦屋大学、大阪学院大学、神戸親和女子大学、千里金蘭大学、龍谷大学と対戦し、4勝1敗の成績で見事優勝を決めました。本学バレーボール部は2014年度春季リーグ戦<1部>、2015年度秋季リーグ戦<1部>で優勝を果たしており、今回で3回目の1部リーグ制覇となりました。

また、本学の藤田幸光監督が最優秀監督賞、藤井みゆき選手(現代ビジネス学部現代マネジメント学科4回生)が最優秀選手賞、スパイク賞、ブロック賞を受賞しました。

さらに、同連盟2017年度秋季リーグ戦<1部>では、千里金蘭大学、武庫川女子大学、関西大学、芦屋大学、龍谷大学と対戦し、4勝1敗の成績で、セット数により惜しくも2位となりました。